

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算補足説明資料

Q2 Results

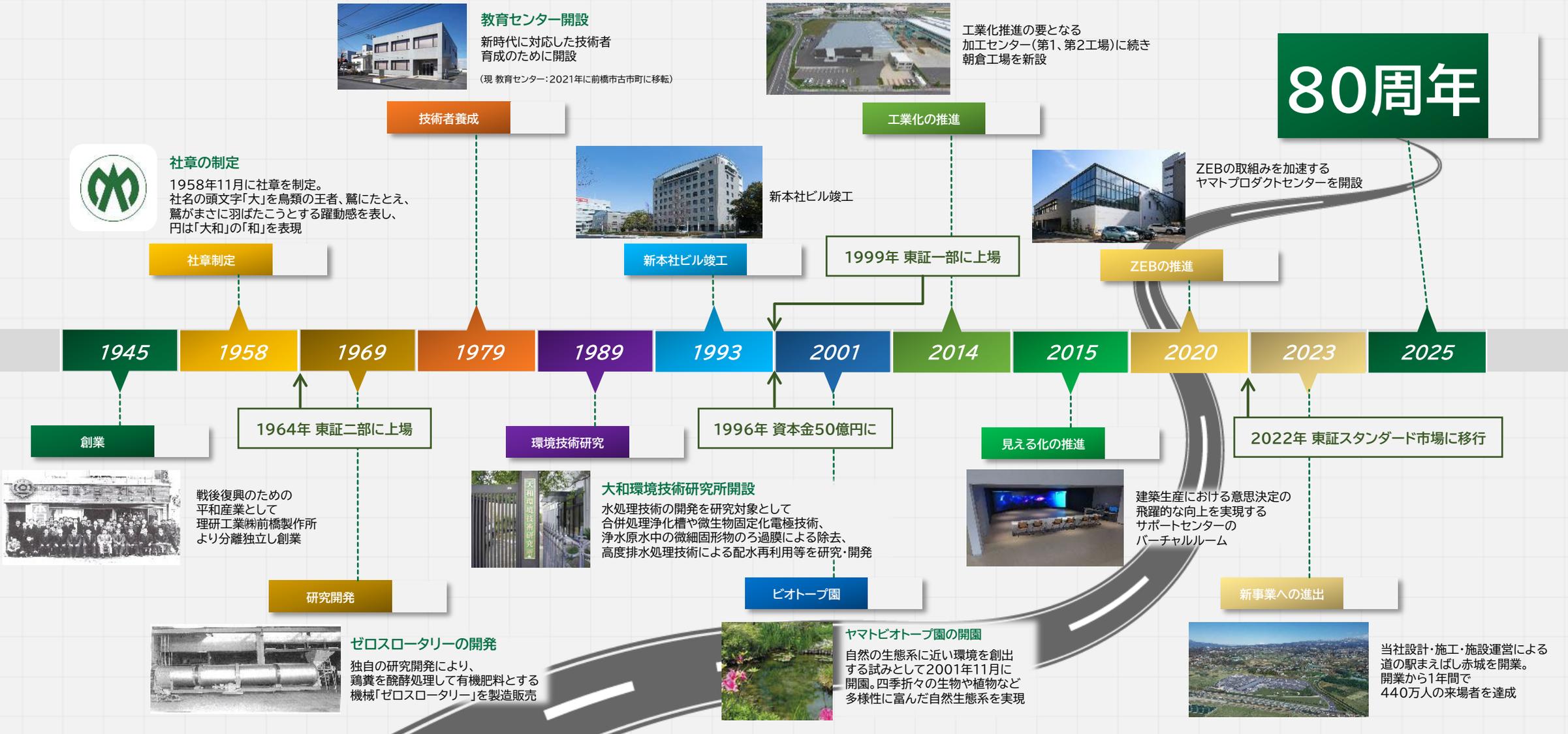
2025年11月4日



証券コード 1967

おかげさまで、ヤマトは2025年10月1日に創業80周年を迎えました

80周年



INDEX

- 01 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算補足説明 *Q2 Results* … 4
- 02 2026年3月期 通期業績予想 *Forecast* … 12
- 03 中期経営計画 *Medium-Term Management Plan* … 15
- 04 参考資料 *Appendix* … 18

連結受注高・連結売上高・連結営業利益の推移

収益性を重視した方針が奏功し、営業利益は、前年同期比40.9%増の24億1千9百万円。受注環境は引き続き堅調の中、施工体制の最適化を目的に新規受注を戦略的に抑制。受注高は前年同期比で減少するも、売上高は大型案件の進捗が寄与し、前年同期比7.8%増の264億1百万円。

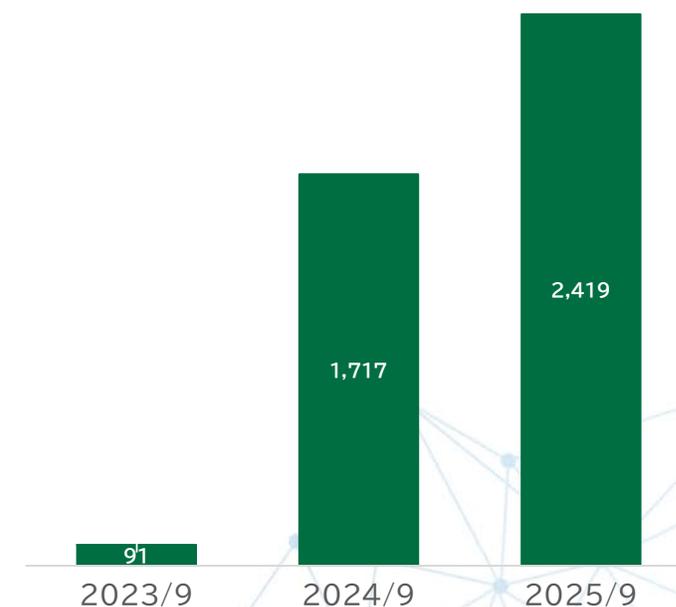
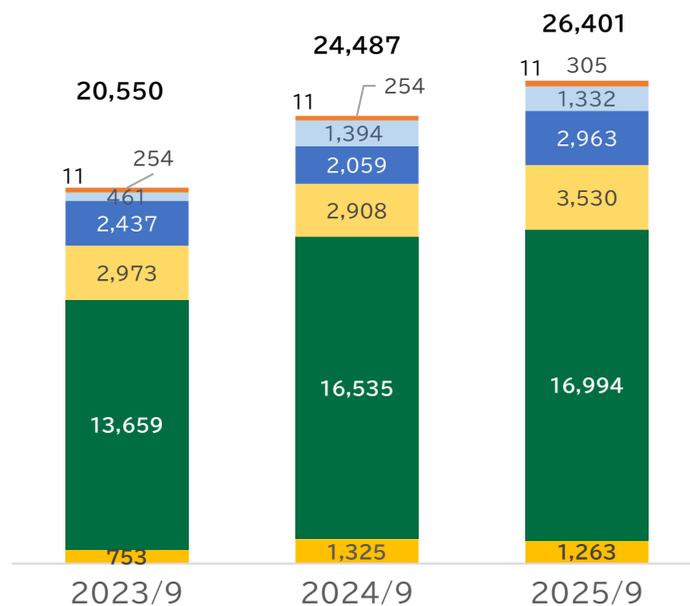
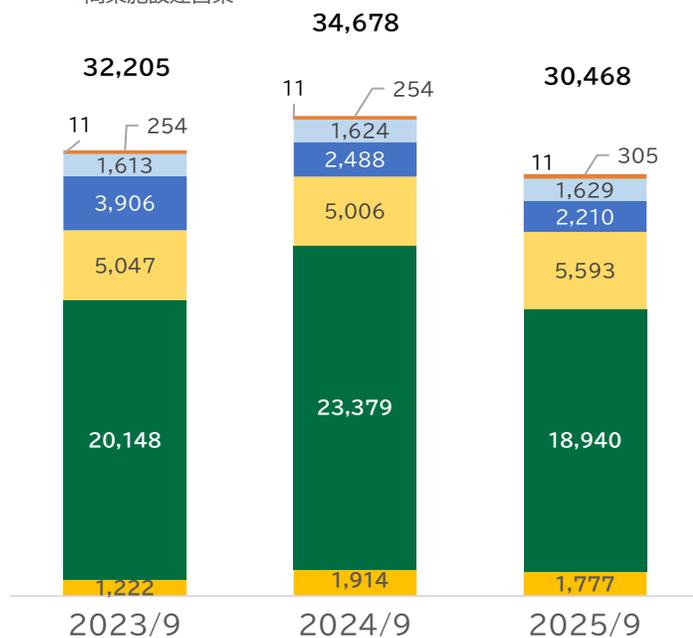
連結受注高 (百万円)

連結売上高 (百万円)

連結営業利益 (百万円)

- 建築・土木
- 空調・衛生
- 電気・通信
- 水処理プラント
- 冷凍・冷蔵
- リース(空調・衛生)
- 商業施設運営

- 建築・土木
- 空調・衛生
- 電気・通信
- 水処理プラント
- 冷凍・冷蔵
- リース(空調・衛生)
- 商業施設運営



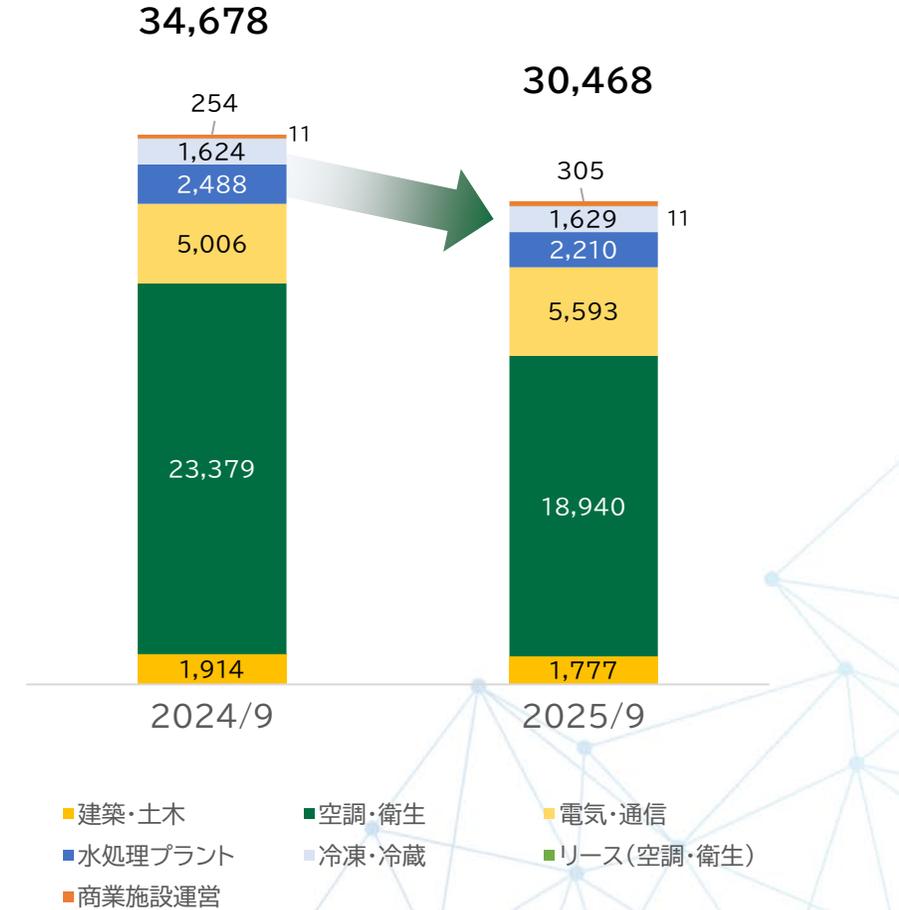
2026年3月期 第2四半期（中間期）連結決算概要

(単位:百万円)	2023/9 (実績)	2024/9 (実績)	2025/9 (実績)	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	20,550	24,487	26,401	1,913	7.8%
建設工事業売上高	20,295	24,233	26,095	1,862	7.7%
商業施設運營業売上高	254	254	305	51	20.3%
売上総利益	1,392	3,168	3,925	757	23.9%
販売費および一般管理費	1,300	1,451	1,506	55	3.8%
営業利益	91	1,717	2,419	702	40.9%
(営業利益率)	(0.4%)	(7.0%)	(9.2%)		(2.2pt)
経常利益	367	1,994	2,760	765	38.4%
(経常利益率)	(1.8%)	(8.1%)	(10.5%)		(2.3pt)
親会社株主に帰属する中間純利益	208	1,351	2,188	837	62.0%
(中間純利益率)	(1.0%)	(5.5%)	(8.3%)		(2.8pt)

種類別連結受注高

(単位:百万円)		2024/9	2025/9	前年同期比	
				増減額	増減率
建 工 事 設 業	建 築 ・ 土 木	1,914	1,777	△137	△7.2%
	空 調 ・ 衛 生	23,379	18,940	△4,438	△19.0%
	電 気 ・ 通 信	5,006	5,593	587	11.7%
	水 処 理 プ ラ ン ト	2,488	2,210	△277	△11.2%
	冷 凍 ・ 冷 蔵	1,624	1,629	4	0.3%
	リース(空調・衛生)	11	11	0	2.4%
	計	34,423	30,162	△4,261	△12.4%
商 業 施 設 運 営 業	254	305	51	20.3%	
合 計	34,678	30,468	△4,209	△12.1%	

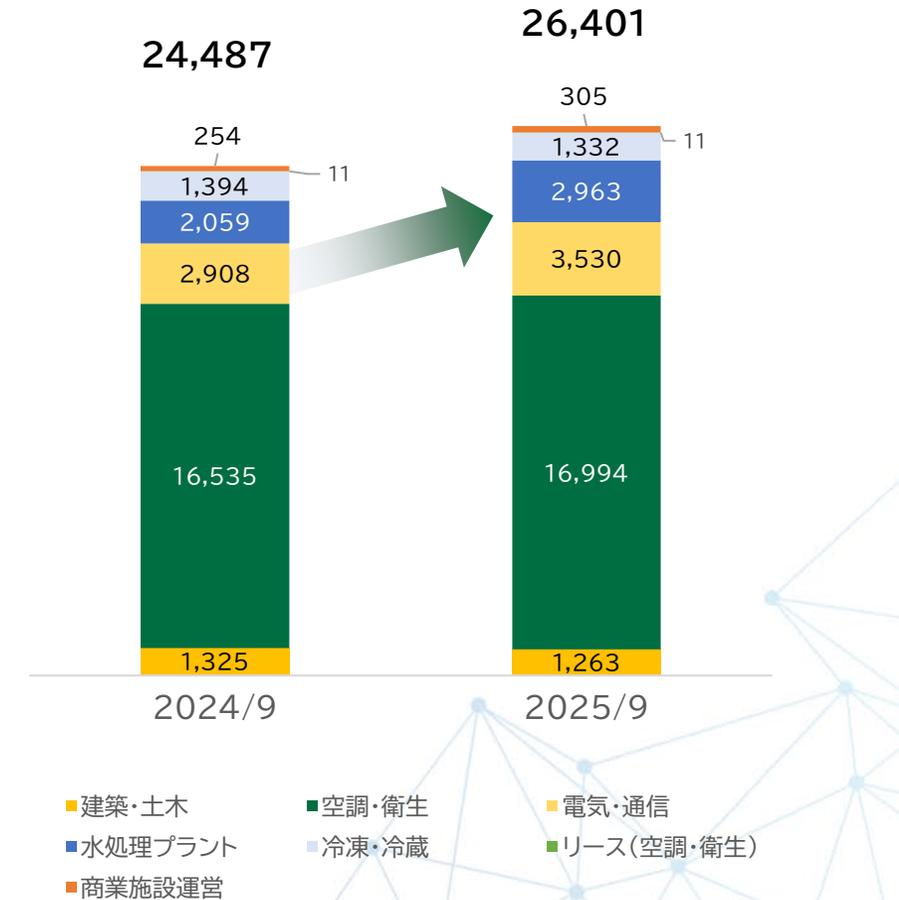
種類別連結受注高の推移



種類別連結売上高

(単位:百万円)		2024/9	2025/9	前年同期比	
				増減額	増減率
建 工 事 設 業	建 築 ・ 土 木	1,325	1,263	△61	△4.6%
	空 調 ・ 衛 生	16,535	16,994	459	2.8%
	電 気 ・ 通 信	2,908	3,530	622	21.4%
	水 処 理 プ ラ ン ト	2,059	2,963	903	43.9%
	冷 凍 ・ 冷 蔵	1,394	1,332	△62	△4.5%
	リース(空調・衛生)	11	11	0	2.4%
	計	24,233	26,095	1,862	7.7%
商 業 施 設 運 営 業	254	305	51	20.3%	
合 計	24,487	26,401	1,913	7.8%	

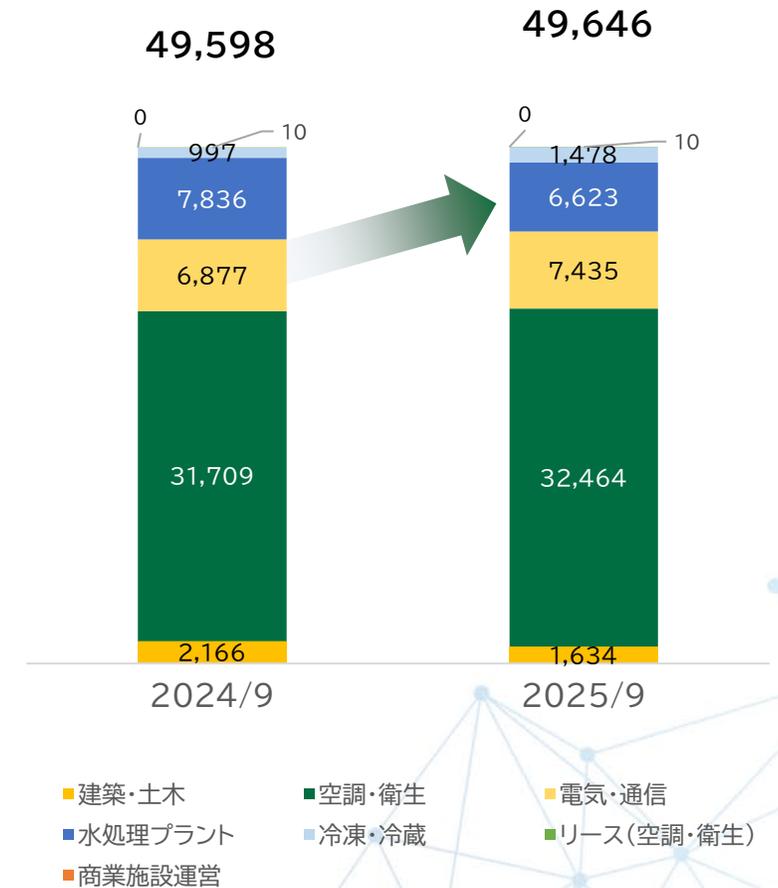
種類別連結売上高の推移



種類別連結繰越高

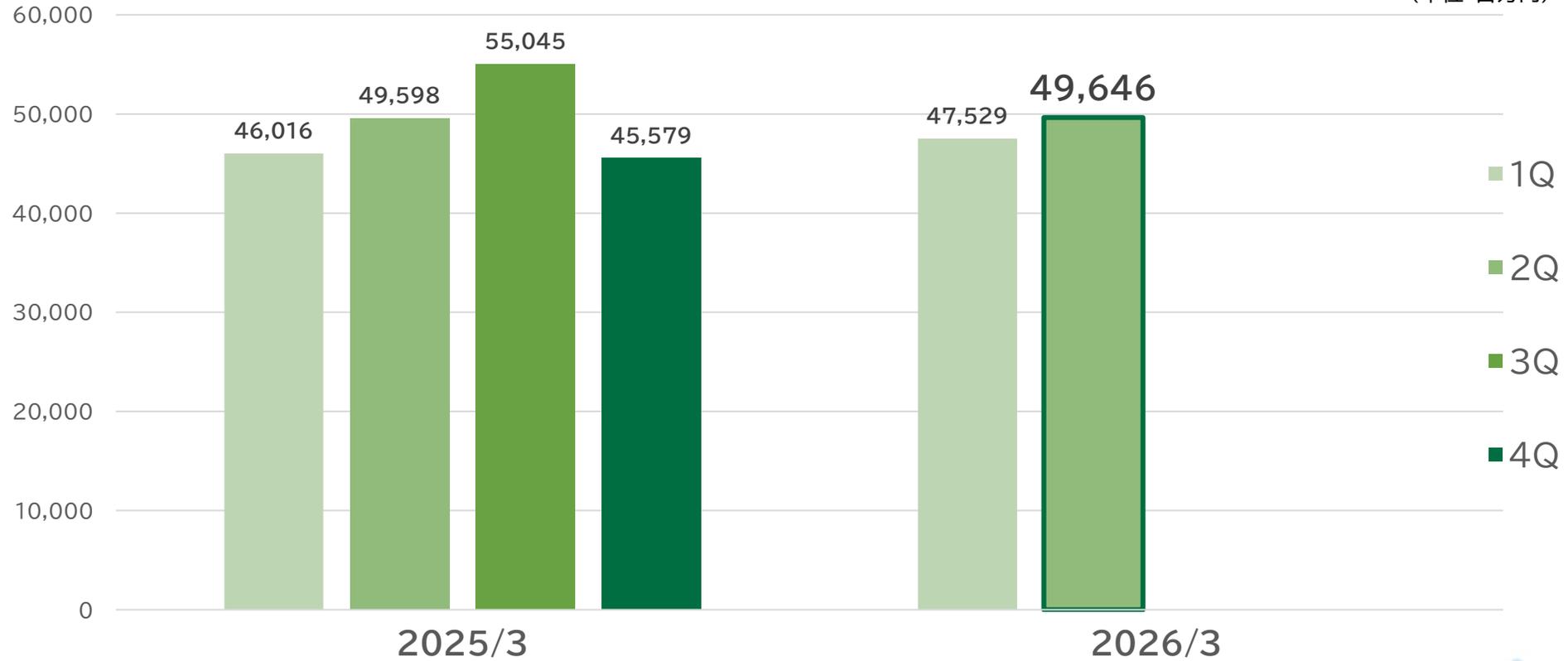
(単位:百万円)		2024/9	2025/9	前年同期比	
				増減額	増減率
建 工 事 設 業	建 築 ・ 土 木	2,166	1,634	△532	△24.6%
	空 調 ・ 衛 生	31,709	32,464	754	2.4%
	電 気 ・ 通 信	6,877	7,435	557	8.1%
	水 処 理 プ ラ ン ト	7,836	6,623	△1,212	△15.5%
	冷 凍 ・ 冷 蔵	997	1,478	481	48.3%
	リース(空調・衛生)	10	10	0	0.0%
	計	49,598	49,646	48	0.1%
商 業 施 設 運 営 業	-	-	-	-	
合 計	49,598	49,646	48	0.1%	

種類別連結繰越高の推移



四半期毎連結繰越高の推移

(単位:百万円)



1Q	2Q	3Q	4Q
46,016	49,598	55,045	45,579

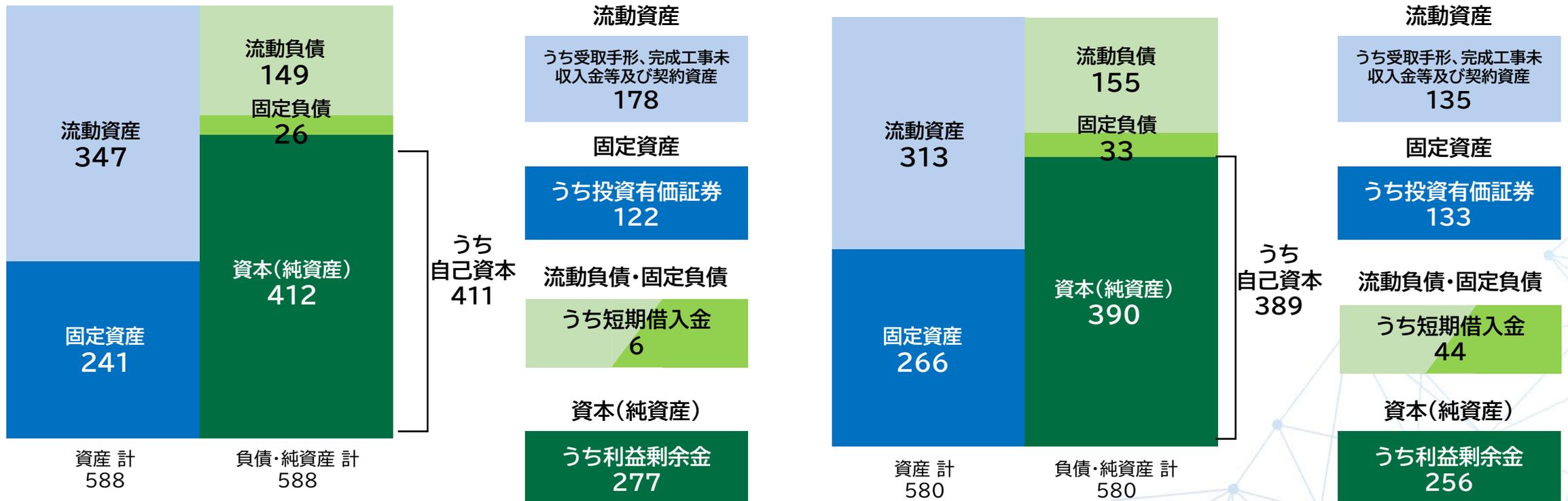
1Q	2Q	3Q	4Q
47,529	49,646		

連結貸借対照表(億円)

- 資産 主として売上債権の回収により「受取手形、完成工事未収入金等及び契約資産」が減少する一方、時価の上昇に伴い「投資有価証券」が増加し、新工場建設に伴い「有形固定資産」が増加
- 負債 主として「短期借入金」が増加し、「工事未払金」が減少
- 純資産 主として中間純利益を計上した一方、配当金支払及び自己株式の消却により「利益剰余金」が減少

2025/3(億円)

2025/9(億円)



連結貸借対照表（百万円）

資産の部		2025/3 実績	2025/9 実績	増減
流動資産	現金預金	11,494	11,625	131
	受取手形、完成工事未収入金等及び契約資産	17,874	13,524	△4,349
	電子記録債権	1,023	1,549	525
	有価証券	822	1,013	190
	未成工事支出金等	2,226	1,852	△374
	その他	1,310	1,815	504
	貸倒引当金	△13	△10	2
	流動資産合計	34,739	31,370	△3,369
	固定資産			
有形固定資産	8,059	9,289	1,229	
無形固定資産	1,577	1,528	△48	
投資その他の資産	14,470	15,845	1,374	
固定資産合計	24,108	26,664	2,556	
資産合計	58,847	58,034	△812	

負債の部・純資産の部		2025/3 実績	2025/9 実績	増減
流動負債	工事未払金	7,335	4,195	△3,139
	買掛金	109	66	△43
	短期借入金	680	4,450	3,770
	1年内返済予定の長期借入金	42	42	0
	未払法人税等	1,405	890	△515
	契約負債	2,156	3,207	1,050
	賞与引当金	1,213	688	△525
	完成工事補償引当金	69	67	△1
	その他	1,938	1,987	49
	流動負債合計	14,951	15,594	643
固定負債	長期借入金	499	489	△9
	その他	2,160	2,872	711
	固定負債合計	2,660	3,361	701
負債合計	17,611	18,956	1,344	
純資産合計	41,236	39,078	△2,157	
負債純資産合計	58,847	58,034	△812	

2026年3月期 通期業績予想

Forecast

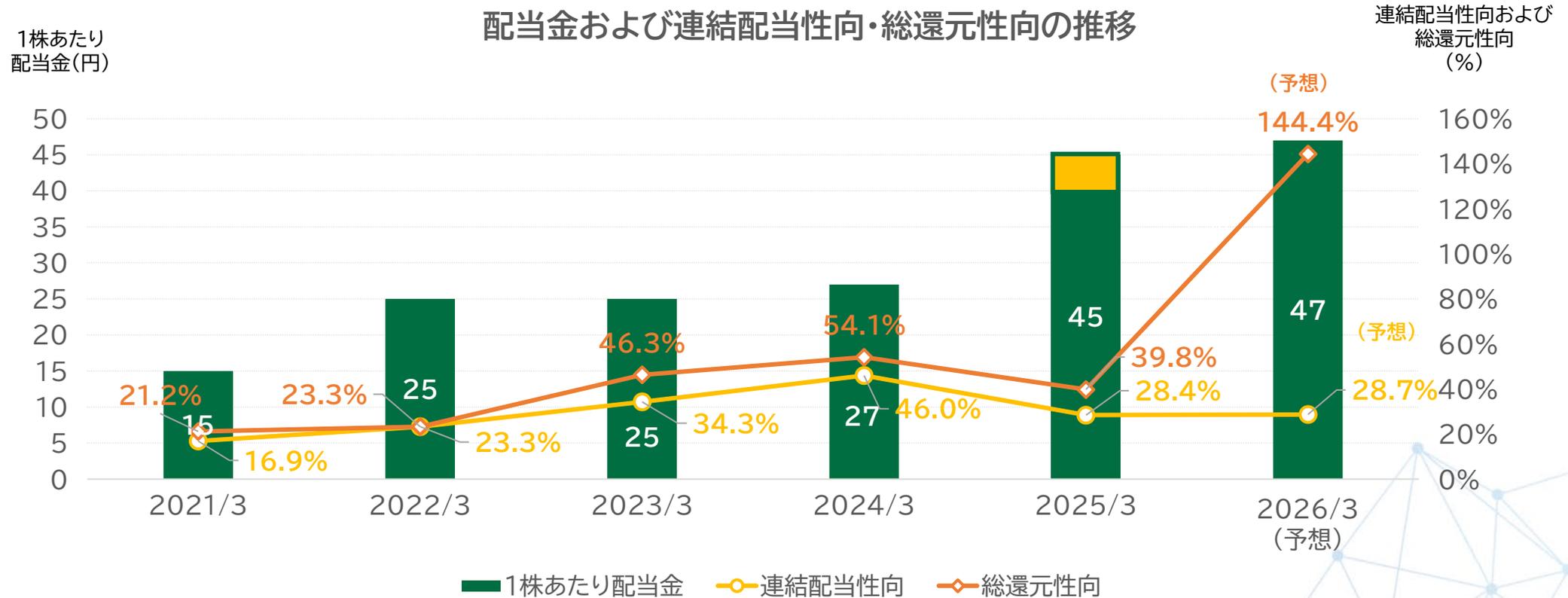
2026年3月期 通期業績予想

- 現中期経営計画の最終年度にあたり、経営目標である「連結売上高530億円・連結経常利益39億円」を達成見込み。

(単位:百万円)	2025/3 (実績)	2026/3 (予想)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	53,168	53,000	△168	△0.3%
営業利益	4,796	4,200	△596	△12.4%
(営業利益率)	(9.0%)	(7.9%)		(△1.1pt)
経常利益	5,283	4,600	△683	△12.9%
(経常利益率)	(9.9%)	(8.6%)		(△1.3pt)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,932	3,800	△132	△3.4%
(当期純利益率)	(7.4%)	(7.1%)		(△0.2pt)
1株当たり当期純利益(円)	158.26	163.76	5.50	3.5%

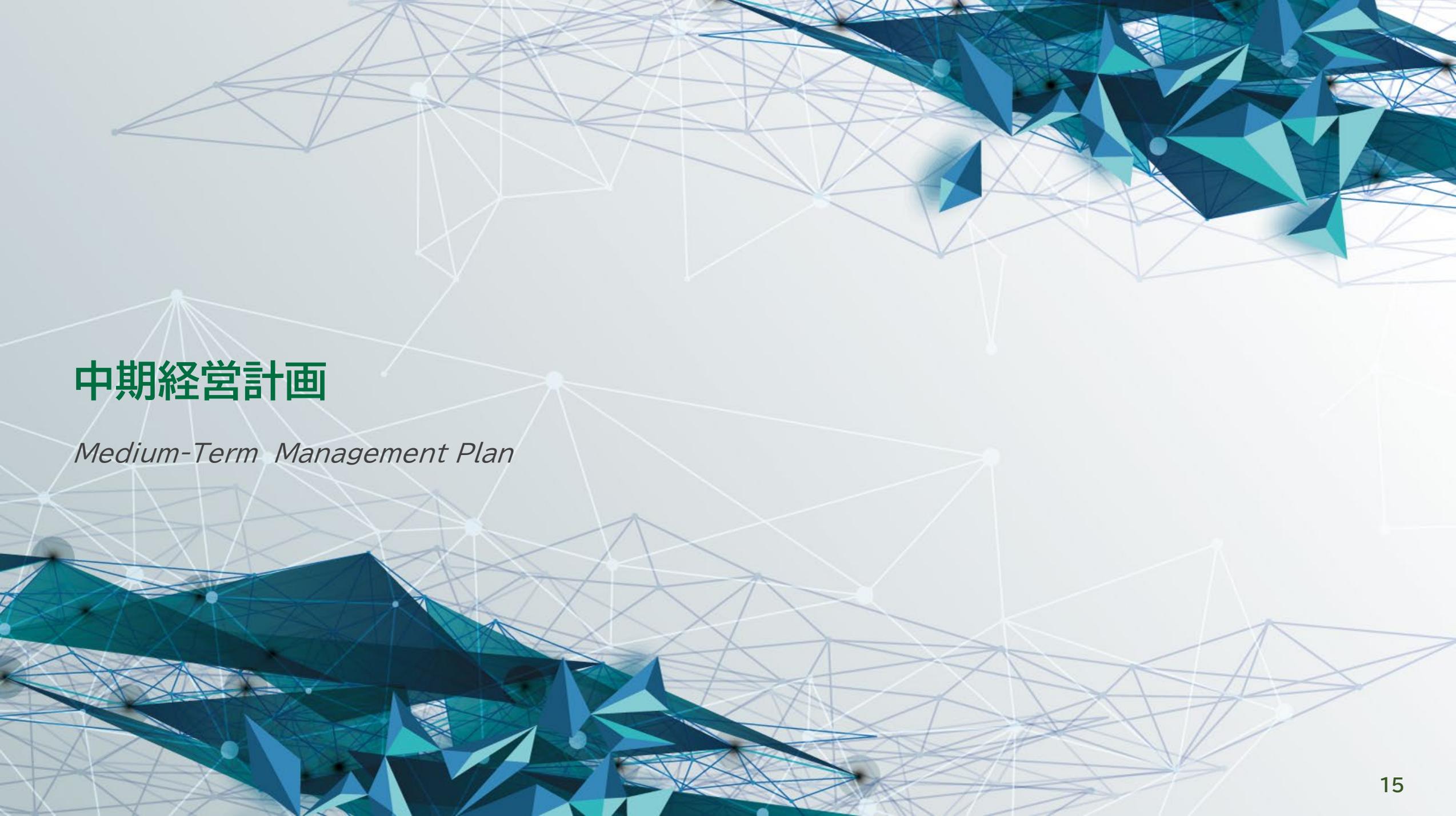
株主還元

連結配当性向30%以上を目標に増配を継続。2025年7月に約44億円の自己株式の取得を実施。
2026年3月期配当金額については、今後の業績により見直しを検討。



※2025/3

■ = 80周年記念配当 5円(配当金45円に含まれる)



中期経営計画

Medium-Term Management Plan

中期経営計画の概要

「コア事業の強化・拡大」「グリーン・イノベーションの推進」「経営基盤の強化・地域貢献」
を成長戦略とした中期経営計画(2023年度～2025年度)を推進

地域とひとの幸せを創造

2025年度
係数目標

連結売上高
530億円

連結経常利益
39億円

連結ROE
8.0%以上

連結配当性向
30%以上

コア事業の強化・拡大

当社の強みである「カタチにする力」
(見える化・工業化)を更に
推進し、高品質・高評価・高収益につなげる

- 品質向上、ものづくり体制の確保・強化
- 競争の強化
- 顧客の拡大

グリーンイノベーションの推進

地方都市の脱炭素社会実現のため、環境性・快適
性・経済性がバランスする技術・サービスを提供

- 資源の有効活用
- 省エネルギーの強化
- 再生可能エネルギーの拡大

経営基盤の強化・地域貢献

変化に対応し、継続的に成長するための
人的資本投資とDX、ガバナンスを強化、
エッセンシャル企業として地域貢献

- モチベーションの向上
- ガバナンスの強化
- 地域貢献

中期経営計画の進捗

業績は順調に推移し、最終年度2026年3月期は目標を達成する見通し。
配当金額については、今後の業績により見直しを検討。

2025年度
係数目標

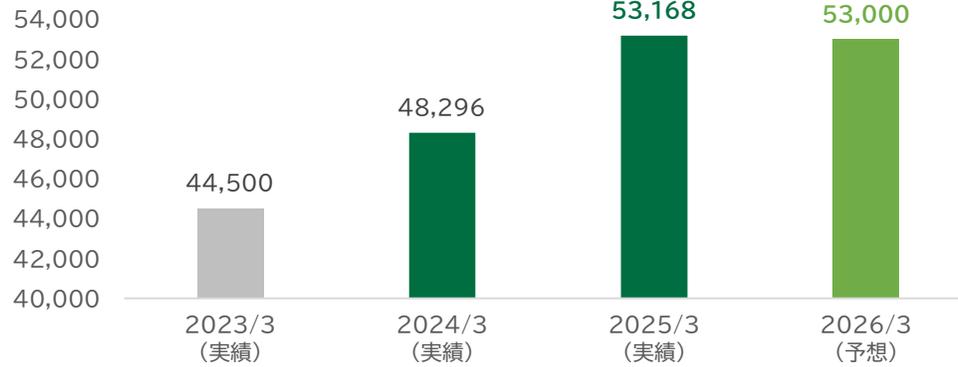
連結売上高
530億円

連結経常利益
39億円

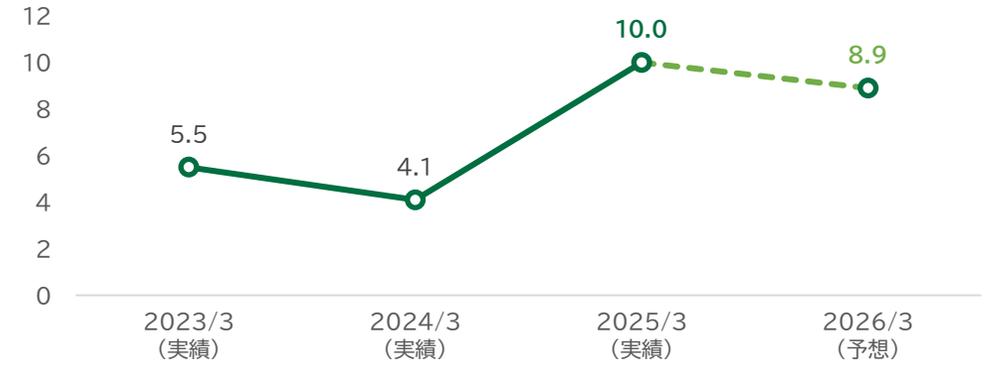
連結ROE
8.0%以上

連結配当性向
30%以上

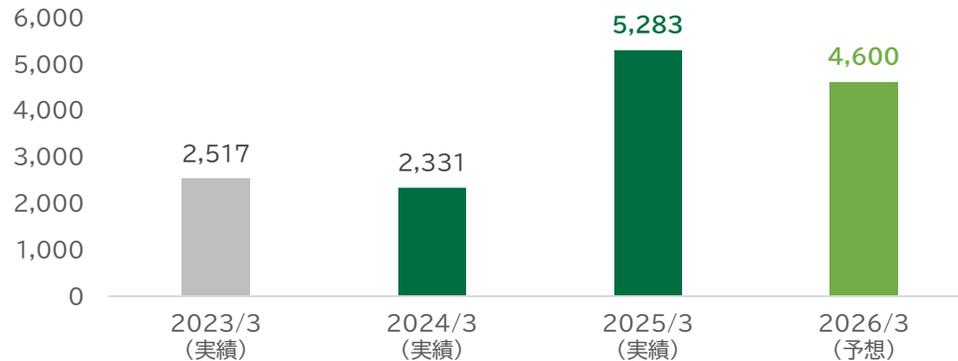
連結売上高 (百万円)



連結ROE (%)



連結経常利益 (百万円)



連結配当性向 (%)





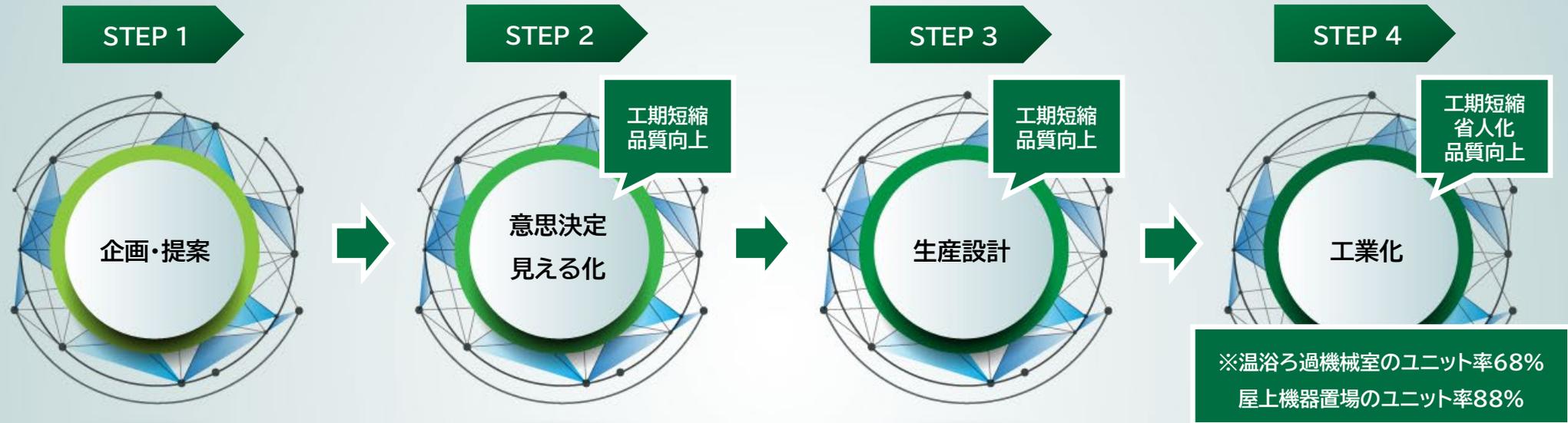
参考資料

Appendix

工業化を核としたヤマトのものづくりプロセス

工業化とは

3次元CAD等のデジタル技術を活用して、設計段階から施工レベルのデータを連動し、工場ですり加工することで、施工現場の省人化と手戻り・手直しの無い施工を可能に



予算や工期、空間の制約を踏まえ、顧客課題を解決する企画・提案力



完成形を3DCGで「見える化」。サポートセンターではさらにリアルな仕上がりを体感でき、空調・照明・衛生・建材など複数メーカーの実物の体験も含め、顧客の意思決定におけるギャップを解消



施工条件や配管システムの工業化・設備のユニット化までを踏まえた生産設計を実施



自社工場での配管のプレハブ加工・ユニット化により設備の高品質化と工期短縮を実現



※(道の駅まえばし赤城 温浴施設の場合)



ヤマトグループはひとを育て、技術を磨き、イノベーション(新しい価値創造)を起こして、
地域とひとの幸せを創造する企業を目指します。

ヤマト本社敷地内の「ヤマトビオトープ園」は、自然との共生を目指すヤマトの意思を体現する取り組みです。



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。